

地震災害予測研究会（第5回）議事要旨

日 時：平成22年8月2日(月) 14:00～16:00

場 所：損保料率機構 3階B会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎
和泉正哲 腰原幹雄 境有紀 林康裕

（機構）大滝(リスク業務室長)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

1. 支払実績とシミュレーションの比較による課題の抽出について

A. 事務局より、新潟県中越沖地震における地震保険の支払実績に基づいた罹災率と観測記録に基づく地震動分布を用いて、シミュレーションとの比較を行い、下記の課題を抽出した。

- 1) 観測記録の周期特性の違いに着目した罹災率の分析を行うことが必要
- 2) 50cm/s程度以下の地震動における罹災率の予測精度向上

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 地震保険の保険実績だけでなく、建築学会による被害の調査結果も確認して、保険実績との比較を行うべき
- 2) さまざまな地震、観測記録における応答スペクトルと、観測点付近の罹災率を比較して、地震動の周期特性と罹災率の関係を分析することが必要
- 3) 観測記録の地震動が当該地域を代表しているとは限らない。分析に用いる観測記録の吟味が必要

2. 地震動予測手法に関する課題の整理、課題および研究方針の検討について

A. 事務局より、過去の幾つか地震の地震動について、観測値とシミュレーションによる計算値との比較を行った。

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 距離減衰式による工学的基盤での地震動評価と地盤増幅率の評価の2つに分けた比較と分析が必要
- 2) 観測記録の地震動が当該地域を代表しているとは限らない。分析に用いる観測記録の吟味が必要

以 上